



ごみの分別と減量化の大切さを学ぶ 「ごみ・リサイクル施設見学会」

市民向け「ごみ・リサイクル施設等見学会」(平成29年12月7日開催)に参加し、印西クリーンセンター、エネルギーセンター、リサイクル施設3カ所、印西地区一般廃棄物最終処分場の6施設を見学しました。

エネルギーセンターは、印西クリーンセンターの廃熱を利用して温冷水を作り、地域の企業などに送っている施設で、ごみ焼却熱を利用した地域熱供給事業を行っている日本でも5カ所しかない施設の1つです。また、リサイクル施設では、分別

収集されてきた資源物がさらに選別され、出荷される過程や洗濯機、冷蔵庫など、家電のリサイクル過程を学びました。

どの施設でも、回収されたごみが人の手で選別作業されていることの事実には驚き、改めて家庭での正しいごみの分別は必要だと感じました。

資源化する技術や過程に興味のある参加者も多く、積極的に施設の人に質問をしていました。古紙や家電、プラスチック容器がどのようにリサイクルされているのか、実際に見て触れることでリサイクルへの理解が深まりました。

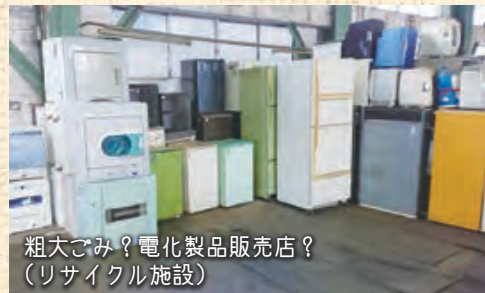


広報レポーター

近能 善弘 (内野)



リサイクル品販売コーナーでは超低価格の素敵な家具も
(印西クリーンセンター)



粗大ごみ？電化製品販売店？
(リサイクル施設)



これでもほんの一部です
(廃棄物最終処分場)

関クリーン推進課クリーン推進班 ☎33-4504